自作教具の活用事例

【作品名】
野菜お知らせくん

【学校名】
日立市立日立特別支援学校

【活用できる領域・教科等】
国語

【制作者名】
征矢　新一

【制作の意図】
言葉を発することが難しい児童に対して、タブレットを使用し、野菜の写真をタップして名称の音声を出すソフト。

【使用の方法】
野菜の絵カードを提示し、同じ野菜の絵カードをタブレットの画面上でタップしていく。

【制作上の工夫】
児童に配付されているタブレットを使い、既存のソフト（パワーポイント）を活用して教具を制作した。

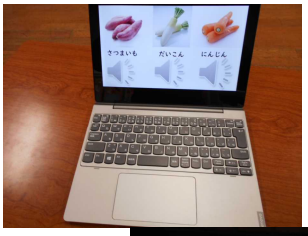
【見取り図】＊データーのしくみ
タブレット画面
（パワーポイントソフト使用）

野菜絵カード	野菜絵カード	野菜絵カード
絵カードの名前（音声データ）	絵カードの名前（音声データ）	絵カードの名前（音声データ）

・野菜絵カード…画像データ
・音声データ…音声読み上げサイト（音読さん）使用

①（教師用 PC）
パワーポイント画面上に画像データー、音声データーを貼り付けていき、PowerPoint スライドショー（.ppsx）で保存をする。
② PC で作成したデーターをタブレットに移す。

【写真】



【材料・材質・部品等】
・児童用タブレット
・野菜画像
・音声データー（WEB サイト　音声さん）
・教師用 PC（PowerPoint ソフト使用）
・PC データーをタブレットに移す記録媒体（USB メモリー等）

【使用効果と応用発展】
タブレットを使用し、画面をタップして音声が出せることで、児童は自ら画面をタップして野菜の名前を出せるようになった。